

# 反核医師ジャーナル

第74号 発行：核戦争に反対する医師の会・愛知

2016年 9月30日  
vol.35 No.2

(名古屋市昭和区妙見町19-2)  
愛知県保険医会館気付  
TEL052-832-1345

## 原爆症認定制度の抜本改正を！



ノーモア・ヒバクシャ愛知訴訟判決

男性二人は認定

## 国は放射線被曝の過小評価を改めよ



ノーモア・ヒバクシヤ訴訟 名古屋地裁判決

原告の2人を原爆症と認める 要医療性を狭く捉え、2人は請求認めず

九月十四日(水)、二〇一一年の提訴から五年近く闘ってきたノーモア・ヒバクシヤ訴訟の名古屋地裁判決が言い渡された。当日は被爆者や弁護士、判決を注目するマスコミや支援者など百人を超える人々が駆け付けた。判決は四人の原告のうち二人につ

放射線起因性について 全員認める

原爆症の認定は、申請疾患が原爆の放射線に起因していること(放射線起因性)と、現に医療を要する状態にあること(要医療性)の両方の要件が必要で、四人の原告は病気が原爆にあつたことによるもので、経過観察を含め医療の必要性を訴えてきた。



今回の判決では、敗訴した原告も含め、全員について放射線判決を終え、記者会見にのぞむ原告(中央の3人)

判決には百人を超える人が集まった



起因性を認めた。判決文でも「様々な形態での外部被曝及び内部被曝の可能性がないかどうかを十分検討した上で、被爆者において、健康に影響を及ぼすような相当量の被曝をしたのか」を判断すると述べ、病気と放射線との関連性について国が強く「否定する主張」をしていた疾患についても低線量域を含め関連性が認められるとし、国の主張を退けた。従来の裁判例を踏まえた適切な判断を行った。

要医療性については 不当に狭く捉える

しかし要医療性については、「積

反核医師のつどいにご参加ください

Advertisement for the 27th 'Anti-Nuclear Doctor's Meeting' (反核医師のつどい) held on November 5th and 6th at Tohoku University. The event includes a press conference, a symposium, and a dinner. It is organized by the Anti-Nuclear Doctor's Association (反核医師会) and the Tohoku University Medical Association (東北大学医学部 医務会).

案内チラシを同封しています

参加希望の方は事務局までご連絡ください

な判断でしかない。

原爆症認定の 抜本改正が急務

名古屋地裁の積極的な面に確信を持つとともに、要医療性を狭める不当な判決には控訴審で闘い続ける必要がある。

国の放射線被曝の過小評価を改めさせるとともに、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)が提言する「すべての被爆者に手当を支給し、症状の程度に応じて加算する」という内容へ、原爆症認定の抜本改正によって問題を解決していくことが求められている。

放射線に起因する疾患にかかっている被爆者に対し、再発や悪化の高い可能性がないと要医療性を認めないという解釈は、被爆者援護法の精神に反する不当

# 核兵器禁止の機運高まるなか 新署名を提起

原水爆禁止二〇一六年世界大会

「核兵器のない平和で公正な世界のために」をテーマに原水爆禁止二〇一六年世界大会国際会議が八月二日〜四日、広島大会が八月四日〜六日、長崎大会が八月八日〜九日にそれぞれ開催された。反核医師の会は、広島大会に早川純午会員と保険医協会事務局三人、長崎大会には坂本龍雄世話人を派遣した。

今回の世界大会は、これまで被爆者を中心に訴えつづけてきた核兵器の非人道性や残酷性が、国際政治の場でも議論され、「核兵器のない世界」への扉を開こうとする新たな動きが生まれて

いる中で重要な大会であると位置づけられている。

第七十回国連総会で、「核兵器のない世界」を実現するための「具体的で効果的な法的措置」を議論する作業部

会の設置が加盟国の七割を超える賛成で可決し、今年の二月と五月に開催された作業部会では核兵器禁止条約の内容や二〇一七年の条約交渉の会議開催なども提案されるという、

今までにない画期的な会議となった。こういった流れのなかで、日本政府は、唯一の被爆国として重要な役割を担っている。

四日の広島大会閉会総会では、二十六カ国・八十九人の海外代表を含め、四千五百人が参加した。開会宣言では、小田川義和氏（世界大会実行委員長）が、

「五月にオバマ大統領が広島への爆心地を訪れ、被爆者を前に『核なき世界を追求する』と述べたことの意義は小さくない。しかし、安倍政権は核兵器のない世界への道に背を向けている。『ヒバクシャ国際署名』を力に、核兵器に固執する勢力を世論の力で追い詰めよう」と述べ、被爆者からの訴えでは若佐幹三氏（日本被団協代表委員）が『ヒバクシャ国際署名』には、私たちの願いが込められている。亡くなった被爆者の魂は、みなさんの運動を見守っている」と述べた。

次に、関係者・政府代表のあいさつやヒロシマから世界へ被爆地からの訴えなどがされた。最後に、「一歩でも二歩でもく原水爆禁止国民平和大行進・国際青年リレー行進」から、各コー

スを行進した方からの報告があり、来年に向けて参加の呼びかけもあった。

五日は、「核兵器全面禁止の行動を―草の根の運動の交流」

「非核平和のアジアと日本の役割」「岩国基地調査行動」などの十八のテーマ別集会や動く分科会が開催された。「岩国基地調査行動」は、基地のある暮らしの

実情や想いを聞くことを目的として、岩国基地の間近まで行き沖合から基地の様子を見た。岩国基地は米海兵隊の戦闘攻撃機を中核とする航空部隊が駐留し

ており、米国の戦争へ岩国からも出撃している。また、飛行訓練時の騒音による民事訴訟も起きている。

六日の広島大会閉会総会には、被爆者や遺族、市民および国連・各国政府代表ら五千五百人が参加した。特別企画「被爆七十一

年、被爆者の願い」では、広島被爆者の松本秀子氏が被爆体験を語った。文化企画では、「青い空は」の合唱と「原爆の子の像」のモデルとなった少女「佐々木禎子」の甥にあたる佐々木祐滋氏（被爆二世）とMetsis氏（被爆三世）によるコラボコンサートが開催された。次に、各国代表の発言があり、各地の代表がのぼりや横断幕を手に登壇し、それぞれ

の取り組みの報告や、決意を語った。安井正和氏（原水爆禁止日本協議会）は、「被爆者の支援を地域・自治体ぐるみで行い、草の根の世論と行動で核兵器のない世界への扉を開こう」と力強く決意を述べた。フィナーレは、「We shall overcome（我々はいつの日か打ち勝つ）」のフレーズを参加者全体で合唱し、盛大に幕を閉じた。

上の署名を集めると議案に提案できる制度を使い、政府が国連作業部会へ参加する為の圧力決議を上げた報告（オランダでの署名の集め方は、署名を集める人を登録する机を街角に出すそうだ）。

高草木氏（日本原水協）は国

## 不使用保証するのは 廃絶のみ

会員 早川 純午

八月五日、一時間遅れでフォーラムからの参加になりました。

オランダの発言は、四万人以

際社会政治が我々と同じ考え方をしていることを感じたのは最近の大きな変化だと、情勢の特徴など紹介された。

世界大会の任務は、人間の根本的特徴＝生存本能と根本的に対立する核兵器に対して、今年は無水協がやっていた署名をまとめて共同した被爆者の署名を集めることになった。数も大事だが中身も大事、自治体の首長などから集めよう、日本の夜明けは足元からなどの報告があった。

討論は、オランダの運動では、若者を上から目線ではなくインターン（現場体験？）として参加してもらったり、ピザナイトなど食べ物を用意して参加しやすくしている。自分たちのやっていることへの感想、提案をもらう努力をしている。世界の草



の根運動に学ぶことが多い。今年、中東の教職の人々が大勢参加され、中東の署名も命がけなどの現状報告や日本の平和教育はどうなっているかの質問がなされ、日本での様々な報告が出された。新潟の大学では平和を考えるセミナーには二倍以上の競争率で学生は参加する。以上の競争率で学生は参加する。

はだしのゲンを四分の一位の学生は読んでいる。一方、今回の参議院選挙で青年の保守主義が見られる。ファシズムへの動きとして防衛省の科研費への参加が当初の百四十位から五十位まで低下した。若者が持つ将来への不安と核兵器の廃絶とどう結びつけるか悩んでいる。日本の平和教育は学校の中ではできていない。教師が平和教育を行うのは政府に頼ることにする。

教師の組合組織率は二五%を切ったなど国内の困難な報告も目立った。

最後に報告者のセルジオ氏から国連の中にたくさんさんの情報があり入手できるので利用してほしいと。ガソンさんは、幾つかのテーマを並べてそれぞれにコインを入れる物をおいてお金を入れて

もらう、そうして、それぞれが関係していることを理解する。「ペニーコール」という取り組みがあることを紹介された。

高草木さんから、Marginalize (瑣末化?) になる運動をどうやって大きくするか。非核自治体の運動とともに、今回の署名をてっぺんから進めたい、自治体の長、教育者などからという提案は重要だと思いました。

八月六日、記念式典では平和宣言の「絶対悪」「非人道性の極み」という言葉が特徴だった。広島県知事の「核兵器を使用するということは数字や概念ではなく、被爆者の証言する現実なのだ、いま世界の指導者に必要なのは、原爆投下により生じた現実を思う想像力だ。核抑止論は観念論だ、核抑止論は核が二度と使われることを保証しない、それを保証できるのは核廃絶しかない」が大変共感できた。

オバマ広島訪問を肯定的に取り上げ、世界の指導者に広島・長崎訪問を呼びかけた発言が多かった。私が、最も悲しかったのは我が国の安倍首相の発言であった。発言の裏で、今行われているジュ

ネーブでの作業部会で抵抗する日本代表、被爆者へは裁判で対抗する姿を重ねるとその言葉がうつろに感じた。だが、首相も言わざるをえないようにしている我々や世界の運動の成果と考

えたいと思った。

閉会式は、参加各国の報告、特に若者が生き生き発言するのを聞くとも未来は明るいと思えた。そして、歌声がさらに元気にしてくれた。

### 国際署名 数億の規模で国連へ 世話人 坂本 龍雄

ある。世界大会・国際会議（広島）で採択された「宣言」は、早速、作業部会の各国代表団に届けられたそうである。

長崎の原水爆禁止世界大会に初めて参加した。二〇一〇年のNPT再検討会議以降、被爆者が訴え続けてきた核兵器使用の非人道性が、「核抑止力」論を克服し、急速に世界中の人々に理解されるようになってきた。昨年の第七十回国連総会において、核兵器禁止条約の交渉開始を求める決議が採択され、核兵器のない世界を実現するための「具体的で効果的な法的措置」を議論する作業部会 (open-ended working group) が設置された。

さて、長崎大会初日に「国際交流フォーラム」が開催された。アメリカフレンズ奉仕委員会のジョゼフ・ガソンさんは、台頭しつつある国々の核保有により、核戦争のリスクは冷戦時代よりも増大していると指摘し、国連総会に向け、ストックホルム・アピール署名の規模（五億人超）で、「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」（ヒバクシャ国際署名）を成功させようと訴えた。イギリス核軍縮運動 (CND) のキャロル・ターナーさんは、核ミサイル・トライデント搭載原潜の更新に反対する運動を紹介した。

そして、この秋の国連総会に向けた詰め作業が世界大会と同時期に進められていた。「この機運を逃すわけにはいかない!」、今はこのような緊迫した状況に

この運動は国民の生活と福祉の向上とも結びついており、国会議員の三分の一の賛同を得てい

# ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える 核兵器廃絶国際署名のお願い

## 後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したい

平均年齢80歳を超えたヒロシマ・ナガサキの被爆者が国際署名をはじめました。

国際赤十字の声明をきっかけに、被爆者が長年訴えてきた「核兵器の非人道性」が核兵器の法的な禁止を求める機運を高め、国連核軍縮作業部会では核兵器禁止条約交渉会議の開催を勧告する報告書が採択されました。

この署名は2020年8月までを期限として、毎年国連軍縮総会に届けます。唯一の被爆国である日本から多くの署名を国連に届けるためにお力をお貸してください。

◆署名用紙を同封しました。全て埋まらなくても結構です。同封の返信封筒で、反核医師の会・愛知へご返送ください。

る。また、ジェレミー・コーピン労働党党首はCNDのメンバーとのことであつた。オランダのバックスのセルマ・オーストワードさんは、米国の核兵器が配備されているオランダでの署名活動を軸とした反核運動や、核兵器関連企業に投資している銀行に圧力をかける「Don't Bank on the Bomb」運動の国際的な反響を報告した。韓国イ・ジュンキョ北韓大学院大学客員研究員は、韓・米・日の軍事協力体制が着々と強化されている一方で、北朝鮮の核兵器への対応は旧来の「政府崩壊論」に依存しており、北朝鮮との対話の糸口を見いだす努力が必要だと述べた。また、挨拶に訪れた田上長崎市長は、草の根の運動をさらに大きくし、核兵器を持つ国と依存している国を包囲していくことが大切であると、参加者にいつそうの努力を求めた。

翌日、「ナガサキデー集会」が催され、千五百人が参加した。「ヒ

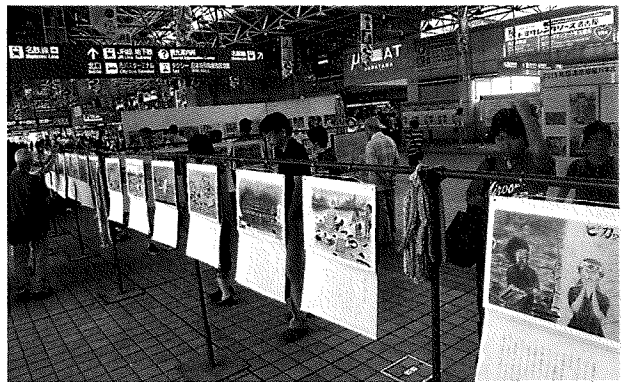
バクシヤ国際署名」のよびかけ被爆者代表の一人である谷口稜嘩さんが、「国際署名をストップホルム・アピール署名のような世界規模の大きな運動にしよう」と挨拶した。若者からの発言も相次ぎ、二〇〇一年に長崎の高校生が始めた、核兵器廃絶と平和な世界の実現を目指す「高校生一万人署名活動」のメンバーや、そのOBで、国際署名推進連絡会事務局のキャンペーンリーダーを務める元SEALDsの林田光弘さんの力強いスピーチには感動させられた。先の参院選挙で野党統一候補として先陣を切った立候補した阿部広美さんのスピーチ、壇上を埋め尽くした福岡からの大人数の参加者など、九州勢の革新の力に圧倒された。

平均年齢八十歳を超えた被爆者の「生きていく間に何としても核兵器のない世界を実現したい」という願いはますます切実である。機運を逃さず、国際政治をさらに前進させるため、「ヒバクシヤ国際署名」を世界で数億筆集めること、これが世界大会で確認された最も重要な行動提起といえる。

# 被爆の実相を伝えよう

## 「原爆パネル展」今年も金山駅で

### 被爆者支援ネット



核戦争に反対する医師の会・愛知も参加する被爆者支援ネットと愛知県原水爆被災者の会は、八月二十七日(土)、二十八日(日)の二日間、金山総合駅コンコース・イベント会場で「原爆と人間」パネル展を開催した。同企画は二〇一四年から毎年八月に行われ、今回で三度目。「生きていくうちに核兵器の廃絶を」の被爆者の思いを実現するため、多くの市民に被爆の実相を知ってもらおうと引き続き企画した。

外国の方まで、多くの市民が足を止め、両日で約五千人の人々がパネルを熱心に見入った。「実は私、長崎で被爆したんです」と声をかけてくださった方もおり、交流もできた。

「原爆と人間」のパネル展示のほか、二〇一五年に国連で展示した原爆パネルや、広島・長崎被爆者の詞画集なども展示した。また被爆者の証言ビデオの上映や折り鶴コーナーも設けた。感想ノートには、戦争の恐ろしさや人々の苦しみを思い、核兵器をなくし、平和を切に願う声が多数寄せられた。

### 核戦争に反対する医師の会・愛知 34周年記念講演会・総会 映画・放射線を浴びた 「X年後」上映会を開催

「核戦争に反対する医師の会・愛知」は六月十一日(土)の午後、

中京大学名古屋キャンパス(名古屋市中昭和区)で三十四周年記念講演として映画「放射線を浴びた「X年後」」(監督・伊東英朗氏)の上映会を行った。参加者は八十六人。

一九五四年三月から五月にかけて、中部太平洋のマーシャル諸島ビキニ環礁でアメリカが行ったビキニ水爆実験で、第五福竜



丸が被ばくしたことは広く知られている。しかし実は、事件発生当時、第五福竜丸以外にも多くのマグロ漁船と推定一万人以上の乗組員が近海で操業しており、大量の「死の灰」を浴びていた。この事実を検証しようと、

高知県の高校教師と生徒たちが一九八五年に調査を開始。乗組員は四十代、五十代の若さでがんを発症し、次々と亡くなっていた。

これらの調査活動を南海放送の伊東ダイレクターが取材・映画化したのが今回上映した作品である。多くの被ばく者がいたにもかかわらず、なぜ「ビキニ事件」第五福竜丸の被ばく」と矮小化されたのか、なぜ事件が人々の記憶から消え去ったのかを問いかけ、被害の実態に迫り、ビキニ事件はまだ終わっていないことを訴える作品であった。

◆ ◆ ◆

二〇一六年度総会には十三人が参加し、原爆症認定を求める被爆者支援の活動や愛知で開催した反核医師のつどいなどの活動報告を行った。今年度はオバマ米

大統領の広島訪問で注目を集める核をめぐる情勢を生かし、引き続き核兵器廃絶への取り組みを強めていくことなどの活動方針を確認した。

### 健康で長生きするため 生活習慣を大切に 被爆者相談会で健康講座に協力

核戦争に反対する医師の会・愛知と保険医協会は、六月十五日(水)の午後、愛知県原水爆被災者の会(愛友会)の依頼で、小

牧市役所で開催された被爆者相談会の健康講座に講師派遣の協力を行った。参加者は九人。

この相談会は毎年愛友会が愛知県からの委託で開催しており、最初に被爆者に対する各種手当てについて愛知県の担当者が説明した。



健康習慣について話す  
土井 敏彦氏

健康講座

座では、土井敏彦氏(反核医師の会・愛知事務局次長、南医療生協か

### ● 会費納入のお願い ●

二〇一六年度の会費(五千円)の納入をお願い致します。会費がまだの先生には振込用紙を同封してありますのでその用紙をご利用いただくか、左記の銀行口座あてにお振り込みください。

### ■ 「核戦争に反対する医師の会」

三菱東京UFJ銀行・八事支店(普)0108297

※二〇一五年度の会費が未納の方には、振込用紙に二〇一五年度会費と記載させていただきましたのであわせてお振り込み願います。ご不明な点などございましたら、左記あてにお問い合わせ下さい。

☎ 052183211346

### 反核医師の会・愛知

### 要請・抗議を送付

月二十六日(日)には浅海嘉夫氏(反核医師の会・愛知世話人、北医療生協北病院)がどちらにも名古屋都市センター(名古屋市中区)で健康講座の講師を担当した。

### ▼要請書

原爆症認定の東京地裁判決を尊重し、国は控訴断念を(二〇一六年七月五日)

### ▼抗議文

安倍首相の「核先制不使用反対」へ抗議し、核兵器廃絶へ努力することを強く求める(二〇一六年八月二十二日)